

# 令和6年度 白梅いずみ保育園 事業報告書

社会福祉法人 白梅福祉会  
理事長 倉山 郁一  
園長 吉濱 優子

## 1. 職務担当者

園長 1人、事務長 1人、総主任保育士 1人、主任保育士 2人、  
保育士 22人（常勤 14人、非常勤 8人）、  
保育補助 非常勤 3人、事務員 非常勤 1人、  
栄養士 1人、調理員 非常勤 4人（2人が栄養士資格有）

\*令和7年3月31日付で園長が退職

## 2. 令和6年度の取り組み

- 1) 令和6年度の基本方針に従って保育園の運営を行った。
- 2) 愛着関係を基盤にした自立を目指し、0歳児は1.5:1、1歳児は2:1の職員配置を実施した。
- 3) 幼児は、朝の会・園外保育・給食など3・4・5歳児が合同で過ごす時間を大切に、中心活動は効果を考え各クラスで実施。園全体で、段ボール遊び、芋掘りから繋がる各活動、コマづくりからコマ回し大会など子ども主体の発展的な活動を行うことができた。
- 4) 養成校・小中学校との連携の定着・強化  
実習生の安定した受け入れを行い(今年度はその実習生の中から1名採用)、実習→採用の方式が定着した。今年初めて神奈川県保育実技講習会から実習生5名の受け入れをし、様々な組織からの実習の受け入れに対応している。また、園長が泉区園長会主催の研修会で「実習の効果的な指導」について講演し、「地域の実習受け入れの充実」に貢献した。  
近隣の小中学校からの保育体験の受け入れも定着している。  
【3-10) 保育実習・ボランティア・職業体験の受け入れに記載】
- 5) 外部からの講演依頼、執筆依頼等の積極的な受諾（発信）を行った。  
【3-7) 職員研修に記載】
- 6) 働きやすい職場づくり 永年勤続表彰者の多さ（定着力の良さ）  
横浜市私立保育園こども園園長会主催の永年勤続者表彰式で、10年表彰を園長以下合計7人が受けている。これらは安定した、質の高い保育に繋がっている。

## 3. 保育目標・保育内容の達成について

様々な問題に対して「出来る限りの対応をして、最善は何かを考える」という方針のもと、問題が出るたびに話し合いながら、最も良い方法を考えて実践して来た。本園の特徴を活かした保育を実践した。

## 1) 保育目標

- 「心も体も健康で、礼儀正しく頑張る子」
- ・基礎的な生活習慣を身に付け、社会で生きる力の基礎を育てた。
  - ・園の特色（布おむつの使用・泥んこ遊び・良い絵本・完全給食）を活かした保育を実施した。
  - ・保育所保育指針の改訂を受け、幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」の実現を目指した。

## 2) 年間の保育内容

- ・「10の姿」の芽生えと育ちを保障できるよう、それぞれの年齢や発達を考慮し、「全体的な計画」や「指導計画」に基づき設定した。
- ・工夫を重ね、0歳児から段階的に活動を積み上げることが出来た。

## 3) 行事

考え方：生活の積み重ねの上にある → 活動の蓄積（成果）

子どもも職員も無理をしないで取り組み、最善を尽して、計画した行事のほぼすべてを実施することができた。

【令和6年度白梅いずみ保育園年間行事実施表：参照】

## 4) 地域交流

- ・毎年、人と関わる力を育てるために積極的に地域交流を実施している。
- ① 老人施設との交流
  - ② 地域との交流
    - ・子育て広場『くるりん』の実施
    - ・南町町内会に加入
    - ・近隣の畑を借りてお芋掘りを行う
  - ③ 上飯田ネットワークへの参加
    - ・定例会に園長が出席
    - ・ネットワーク主催の『秋の公園遊び』に幼児クラス全員が参加。
  - ④ 「いずみっこ広場」への参加
    - ・パネルと動画、『先生と遊ぼう』にI保育士・A保育士が参加
  - ⑤ 職員・5歳児交流
    - ・にじいろ保育園・ゲンキッズと3園合同で公園遊びを行い、『ハッピーマザーミュージック』の音楽会に招待した。
  - ⑥ その他
    - ・泉福祉保健センター主催の『動物絵画展』に5歳児が出品
    - ・泉区保育・教育施設対象の『おおきくなったよ☆みんなもうすぐいちねんせい！』に5歳児が参加。

## 5) 幼保小連携事業

- ・アプローチカリキュラムを活用し、接続期の大切さを理解して、小学校への学びの効果的な接続を行った。
- ・園長が、泉区園長会の『幼保小連携担当』となり、幼保小実行委員会副会長となって地域の幼保小連携事業に貢献。
- ・園長、年長児クラス担任が、園長校長会総会・実践交流会・すこやか講演会に、多数の保育士が一斉授業研究会に参加。
- ・中和田小学校の2回の幼保小交流会に5歳児クラスの子どもが参加。
- ・中和田小、上飯田小の5年生の「保育体験」の受け入れや「服のチカラプロジェクト」への協力。
- ・園長、職員が、横浜市こども青少年局主催の「子ども主体の保育」はじめ、各研修会、分科会に出席。また園長がこども青少年局主催、夏の教育研修会 第4分科会『言葉』の助言者を拝命し、助言者として講評を行った。

## 6) 職員会議

- ・月2回の職員会議（定例職員会議）で、課題の検討・確認を行い、職員全員が保育の運営に関われるよう、また月2回の担任会議で、子どもたちへの配慮、問題に対する改善策を協議し、職員間の連携を図った。また2回目の担任会議に出来る限り給食会議を組み込むことにした。
  - ・決定事項は速やかに周知し、漏れが無いようにすることを基本方針とした。
- ① 定例職員会議 26回
  - ② 担任会議 13回
  - ③ 給食会議 12回
  - ④ その他、リーダー会議・フロアー会議・担当者会議を実施した。

## 7) 職員研修

- ・職員が職務にあった研修に参加をすることにより、保育の質を高め、保育に活かすことが出来た。
  - ・キャリアアップ研修に積極的に参加し、新たに4人が4講座を全て修了した。(4講座修了者13人)
- ① 園外研修 20講座 参加
  - ② 園内研修 7回 実施

《外部から依頼を受け研究活動に参加》

- 園長
- ・清和大学短期大学部 特任教授
  - ・近畿大学通信教育学部、道灌山保育福祉専門学校 非常勤講師
  - ・横浜創英大学 特別講義 講師
  - ・横浜市こども青少年局 主催  
『幼保小 夏の教育研修会』 第4分科会 助言者
  - ・泉区保育・教育施設研修

- 『効果的な実習指導の在り方』 講師  
 ・よこはまの保育問題を考える園長の会  
 『職員が育ち合う園作り』 講師
- H幼児主任 ・横浜市社会福祉協議会 横浜保育研究会 (R5 研究・R6.5 発表)  
 共同研究『家庭や地域との連携による食育の推進』 発表者
- H保育士 ・横浜市社会福祉協議会 横浜保育研究会 (R5 研究・R6.5 発表)  
 共同研究『保育環境について』 研究に参加  
 ・横浜保育フォーラム実行委員会 主催  
 『折り紙遊びと子どもの成長』 発表者
- K総主任 ・造形教育を盛り上げる会研究大会 第5分科会  
 共同研究『生活から広がる造形』 発表者  
 共同研究者：H幼児主任・H保育士・S保育士

8) 命を守るための活動（避難訓練・防犯訓練・交通安全訓練）

- ・子どもの安全を保障し、安全に生活する姿勢を身に付けるために避難訓練・防犯訓練を実施した。（他機関との合同訓練の再開）

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| ① 避難訓練（地震・火災） | 12 回               |
| ② 不審者対策訓練     | 2 回（1 回は泉警察署の合同訓練） |
| ③ 引渡し訓練       | 1 回                |
| ④ 消防署との合同訓練   | 1 回                |
| ⑤ 消火訓練        | 12 回               |
| ⑥ 非常食の試食      | 1 回                |
| ⑦ 救命救急訓練      | 1 回                |

- ・子どもの日常的な安全生活を維持するための活動を実施した。

- |             |            |          |     |
|-------------|------------|----------|-----|
| ① 防災ノートの用意  | ② 倉庫内リスト作り | ③ 防災用品点検 | 2 回 |
| ④ 救急法の講習 受講 | ⑤ AED の設置  |          |     |

【『令和6年度避難訓練計画・避難訓練実施報告』：参照】

9) 子育て支援

- ・横浜市保育所地域子育て支援事業として、地域のための子育て広場「くるりん」を実施。 担当：園長・K総主任・K保育士・Y保育士
- ・園庭開放（12回）
  - ・交流保育（3回）
  - ・育児講座（3講座）実施

10) 保育実習・ボランティア・職業体験の受け入れ

①保育実習

- 横浜創英大学 1名  
 鶴見短期大学 2名  
 横浜こども専門学校 1名

- ②見学実習  
船橋情報ビジネス専門学校 1名
- ③神奈川県保育実技講習会  
実践見学実習 5名
- ④中学校の職業体験  
中和田中学校 「職場体験学習」 5名  
上飯田中学校 「ふれあい体験」 4名
- ⑤小学校の職業体験  
上飯田小学校 「保育体験」 2名

#### 4. 給食の実施状況

- ・アレルギー体質の子どもには毎月の献立表をもとに保護者と相談し、アレルギー除去食を提供した。 → 提供：3名
- ・毎月給食会議を実施し、保育士と給食室のコミュニケーションを図るとともに、給食の改善等を検討して、「より良い給食」を目指した。

#### 《食育》

- ・基本的な考え方（保育活動に連動して行う＝保育の中の食育）に沿って年間指導計画を作成し、計画に従って実施した。
- 4月 集団給食に慣れる・食事のマナー
- 5月 夏野菜の栽培・野菜の購入体験（遠足）・給食のお手伝い
- 6月 夏野菜の観察・野菜に触れる・給食のお手伝い・給食で試食
- 7月 夏野菜の観察・野菜に触れる・食事のマナー・箸の使い方
- 8月 夏野菜の収穫・給食で試食
- 9月 栄養の話（3つの食品グループ）
- 10月 サツマイモ掘り・お芋の観察・試食（掘ったサツマイモを焼き芋にして食べる）
- 11月 スイートポテトづくり（芋を洗う・切る にじ組）
- 12月 クリスマスバイキング（自分の食べられる量を知る）
- 1月 日本の食文化を知る（お節・七草粥・鏡開き）
- 2月 日本の食文化を知る（節分）
- 3月 リクエスト献立・野菜のカップケーキ作り（にじ組）

#### 5. 健康管理の実施状況

##### （1）園児

- 内科健診 5月、11月に嘱託医による健康診断を実施
- 歯科健診 5月、11月に嘱託医による歯科健診を実施
- 尿検査 6月に実施（3歳以上児のみ）
- 聴力・視力検査 9月に3歳児クラスで実施

##### （2）職員

- 健康診断・定期健康診断 → 4月から順次 実施

毎月1回腸内細菌検査 → 毎月1回 計12回実施  
インフルエンザ予防接種（希望者のみ） → 12月実施

## 6. 避難訓練の実施

- ・毎月1回、火災や地震等を想定した避難訓練及び消火訓練を実施
- ・6月には、泉消防署と合同で、避難訓練を実施した。
- ・2月には、泉警察署と合同で、不審者対応の訓練を実施した。  
【「令和6年度避難訓練年間実施報告書」：参照】

## 7. 保護者とのコミュニケーション

- ・丁寧に見学に対応し、入園説明会、重要事項説明会を実施して、園と保護者が協力して子育てに当たることを確認し、互いの連携の大切さを理解してから保育を開始している。
- ・可能な限り、ドキュメンテーション（写真入りプリント）で日常生活を掲載し、0歳児から5歳児までの各クラスで、ホワイトボードにその日のクラスでの出来事を記載し、保護者の保育内容への理解を深め、保護者との信頼関係を構築した。
- ・0歳児から5歳児までのクラスで、連絡ノートにその日のようす・質問の応答・連絡事項などを記入して、保育の理解と意思の疎通を図った。
- ・毎月発行する園だよりで、保育の考え方、園の方針、行事予定や連絡を、クラス担任は、毎月クラスだよりを発行して、クラスの様子を知らせた。  
→ 園だより13回（番外編1回）・クラスだより12回発行
- ・早急に知らせなければならないことや全体周知が必要なことは、マチコミで配信、テラスのそれぞれの入り口に掲示、郵送など、緊急度を考慮してそれぞれに合った方法を用いて情報共有を図った。
- ・保育参観の実施 → 幼児クラスのみ6月に各家庭1名の参加で実施
- ・給食試食会 → にじ組のみ保育参観の後に実施
- ・個人面談の実施 → 全クラス年間2回 実施

## 8. 職員の育成

- ・それぞれの職員の課題・目標を明らかにした「職員育成計画」に基づいて行っており、「キャリアパス要件」を作成し、職員の資質向上のための具体的な目標、実施事項を明らかにして、意欲の向上を図った。
- ・園内外の研修に参加することを積極的に支援し、保育者の資質向上に努めた。
- ・市社協の研究会にH幼児主任・T乳児主任の2名が参加。
- ・今井和子氏主催の『言葉の研究会』を9名が受講。
- ・園長と乳児クラスの保育士、K保育士・Y保育士・E保育士・O事務職員が、小学館「0・1・2歳児の保育」の掲載原稿の校正を行う。

9. 運営資金

運営費、市区町村補助金等で運営

【「令和6年度決算報告書」：参照】

10. その他

横浜市こども青少年局監査課による指導監査

令和6年11月22日 実地監査の実施。

指摘事項なし。